



BNY MELLON  
INVESTMENT MANAGEMENT

# BNYメロン・リアル・リターン・ファンド

## 四半期決算コース (為替ヘッジあり) / 四半期決算コース (為替ヘッジなし)

### 追加型投信 / 内外 / 資産複合

## 交付運用報告書

第16期 (決算日2019年12月17日) 第17期 (決算日2020年3月17日)  
作成対象期間 (2019年9月18日~2020年3月17日)

	第17期末 (2020年3月17日)	
	四半期決算コース (為替ヘッジあり)	四半期決算コース (為替ヘッジなし)
基準価額	8,985円	8,874円
純資産総額	7百万円	22百万円
第16期~第17期		
騰落率	△11.0%	△12.6%
分配金 (税込み) 合計	50円	50円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

### 受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・リアル・リターン・ファンド 四半期決算コース (為替ヘッジあり) / 四半期決算コース (為替ヘッジなし)」は、2020年3月17日に第17期の決算を行いました。当ファンドは、主として、米ドルベースで絶対収益の追求を目指すアイルランド籍外国投資信託である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)」および国内籍証券投資信託である「マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)」に投資し、信託財産の中長期的な成長および配当等収益の確保を目指して運用を行っております。ここに、第16期から第17期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、下記方法により閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>  
下記のホームページの「ファンダー一覧」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書 (全体版)」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。  
なお、過去5年間の運用報告書 (全体版) につきましては、「ファンダー一覧」画面の右「ファンド情報」欄の一番下の「運用報告書 (全体版) 過去分」を選択いただくと、閲覧・ダウンロードすることができます。

### BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号  
丸の内トラストタワー本館

<運用報告書に関するお問い合わせ先>  
運用商品開発部

電話番号: 03-6756-4600 (代表)

受付時間: 営業日の9:00~17:00

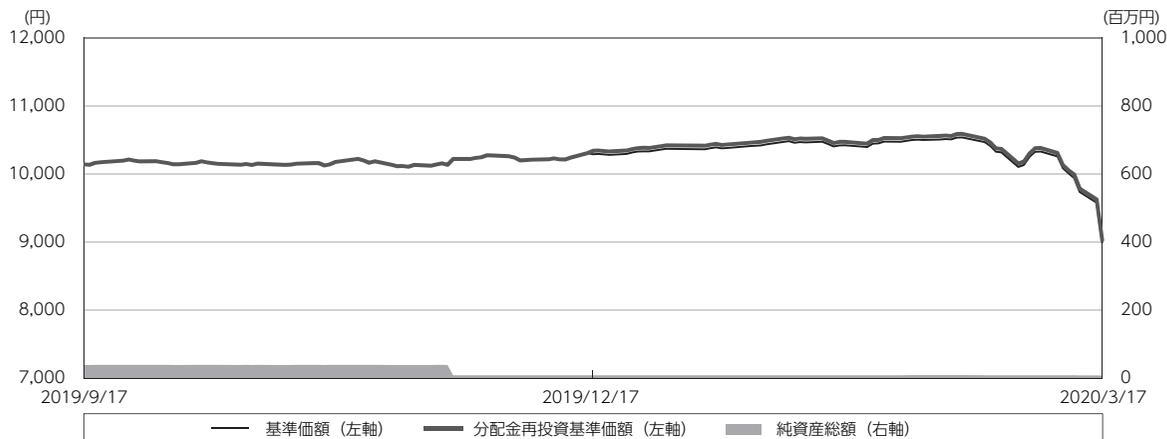
ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

# BNYメロン・リアル・リターン・ファンド 四半期決算コース (為替ヘッジあり)

## ■運用経過

(2019年9月18日～2020年3月17日)

### 作成期間の基準価額等の推移



第16期首：10,143円

第17期末：8,985円 (既払分配金 (税込み)：50円)

騰落率：△11.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期は、当ファンドの主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)」が下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。主要投資対象に対する対円でのヘッジを行っていたことから、米ドル・日本円の為替変動の影響はほとんど受けませんでした。

#### (上昇要因)

- ・ 期初から2020年2月中旬にかけて株式市場が上昇する中、株式の保有がプラスに寄与しました。
- ・ 期初から2020年3月上旬にかけて金価格が上昇する中で、金関連銘柄の保有がプラスに寄与しました。

#### (下落要因)

- ・ 2020年2月下旬から期末にかけて株式市場が急落する中、株式の保有がマイナスに寄与しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2019年9月18日～2020年3月17日)

項 目	第16期～第17期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 72	% 0.697	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、10,285円です。
(投信会社)	( 25)	(0.246)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 45)	(0.438)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	30	0.287	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 4)	(0.035)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 3)	(0.028)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	( 23)	(0.221)	組入ファンドの管理報酬等
合 計	102	0.984	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

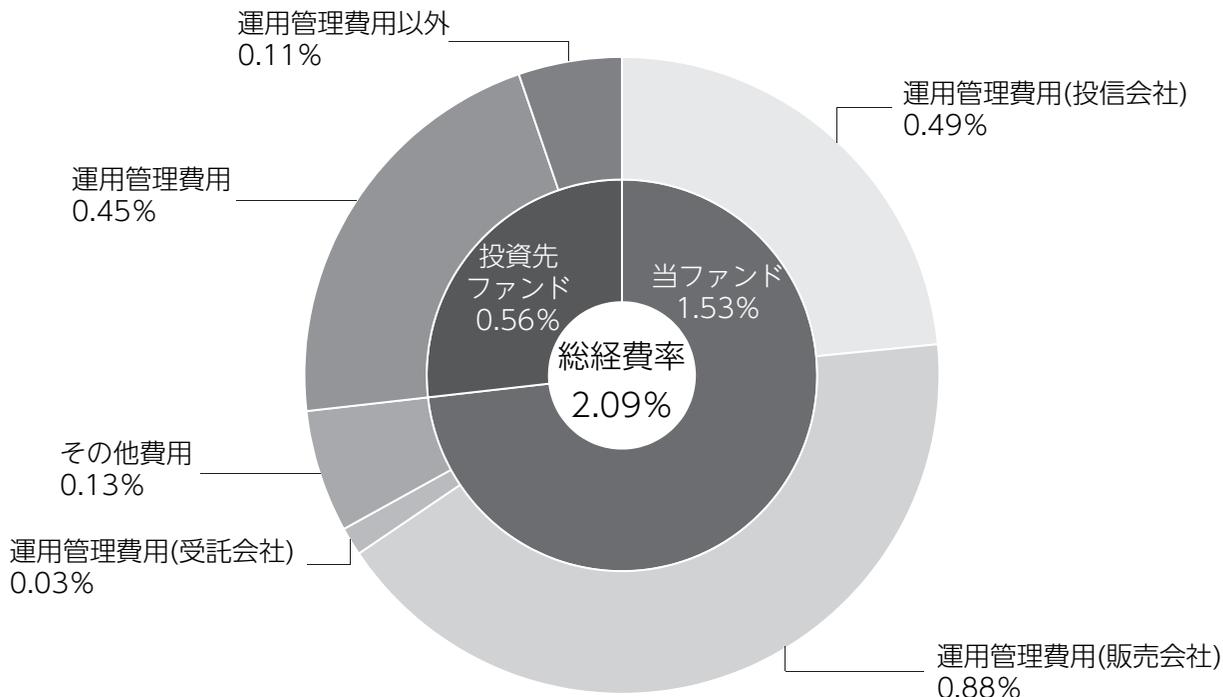
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



総経費率 (①+②+③)	2.09%
①当ファンドの費用の比率	1.53%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年12月21日 設定日	2016年3月17日 第1期末	2017年3月17日 第5期末	2018年3月19日 第9期末	2019年3月18日 第13期末	2020年3月17日 第17期末
基準価額 (円)	10,000	10,087	9,754	9,536	9,719	8,985
期間分配金合計(税込み) (円)	—	50	100	50	0	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.4	△2.3	△1.7	1.9	△6.6
純資産総額 (百万円)	1	80	48	15	13	7

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

## 投資環境

### 株式市場

当作成期の先進国株式市場は、期初来、米中通商交渉の進展や、英国の総選挙結果でEU（欧州連合）離脱が確定的となったことなどが支援材料となり、株式市場は年末にかけて上昇しました。2020年の年明け後も米中通商交渉の進展が見られる中、株式市場は堅調な推移を見せましたが、2月下旬以降、新型コロナウイルスに対する懸念がグローバルに高まる中で株式市場は急落しました。

### 債券市場

当作成期の先進国国債市場は、期初来、サウジアラビアの石油精製施設へのテロ攻撃や米国で発表された経済指標が悪化したことなどから欧米長期金利は10月上旬にかけて一時低下しました。その後は米中通商交渉の進展や、英国の総選挙結果でEU（欧州連合）離脱が確定的となったことなどから年末にかけて長期金利は上昇しましたが、2020年2月下旬以降は新型コロナウイルス懸念と各国中央銀行の金融政策を背景に欧米長期金利は変動の大きい展開となりました。

### 為替市場

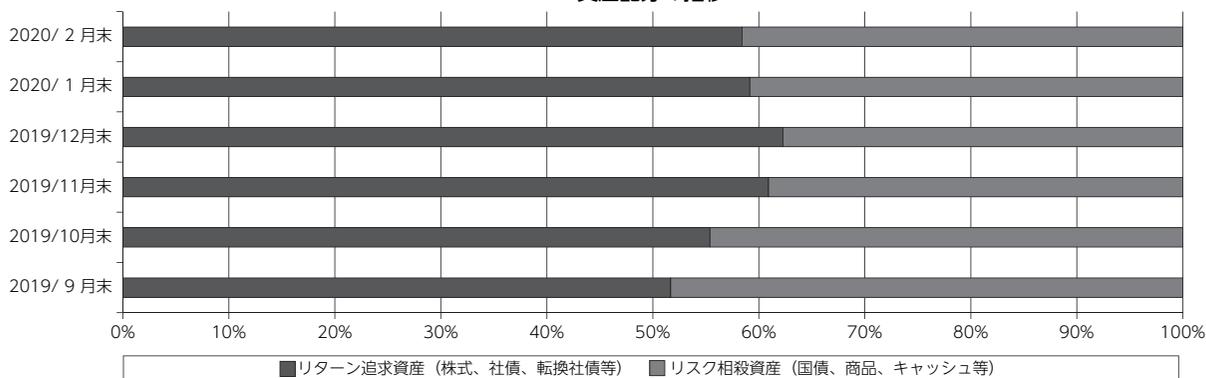
当作成期の為替市場では、米中通商交渉の進展や、英国の総選挙結果でEU（欧州連合）離脱が確定的となったことなどから米ドルは対円で上昇しましたが、2020年2月下旬以降は新型コロナウイルスの影響を受けて、米ドルは対円で下落しました。そのような状況下、英ポンド、ユーロも対円で下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

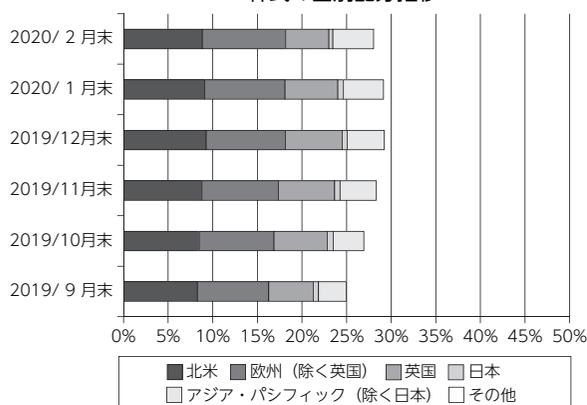
当ファンドは、主として、「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」及び「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行いました。期を通じて「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」の組入比率を高位に保ちました。為替については、米ドルに対して為替ヘッジを行いました。

主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」においては、主として、世界の株式、債券、通貨等を投資対象とし、様々な投資環境に柔軟に対応しながら、下記のグラフのように投資配分の変更を行い、中長期的に米ドルベースで絶対収益の追求を目指して運用が行われました。

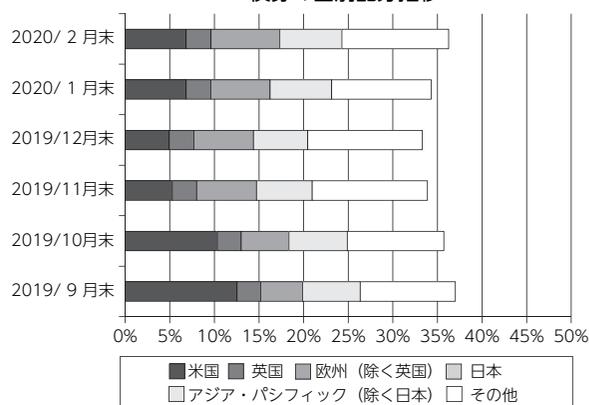
### 資産配分の推移



### 株式の国別配分推移



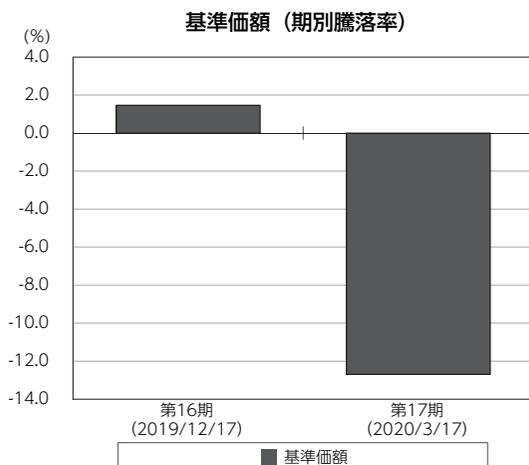
### 債券の国別配分推移



## 当ファンドのベンチマークとの差異

第16期の基準価額騰落率は2.0%、第17期の基準価額騰落率は△12.7%となりました。

なお、当ファンドはベンチマークを設けておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

## 分配金

当作成期の収益分配については、基準価額の水準等を勘案し、第16期末に50円（1万口当たり、税込み）をお支払いさせて頂きましたが、第17期末は見送りとさせて頂きました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用致します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期	第17期
	2019年9月18日～ 2019年12月17日	2019年12月18日～ 2020年3月17日
当期分配金	50	—
(対基準価額比率)	0.484%	—%
当期の収益	50	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	521	521

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ■今後の運用方針

「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」および「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を継続してまいります。

投資比率については、「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」への配分を高位に保ちます。また、為替については、米ドルに対して為替ヘッジを行います。

引き続き、信託財産の中長期的な成長を目指してまいります。

## ■お知らせ

### ●社名変更のお知らせ

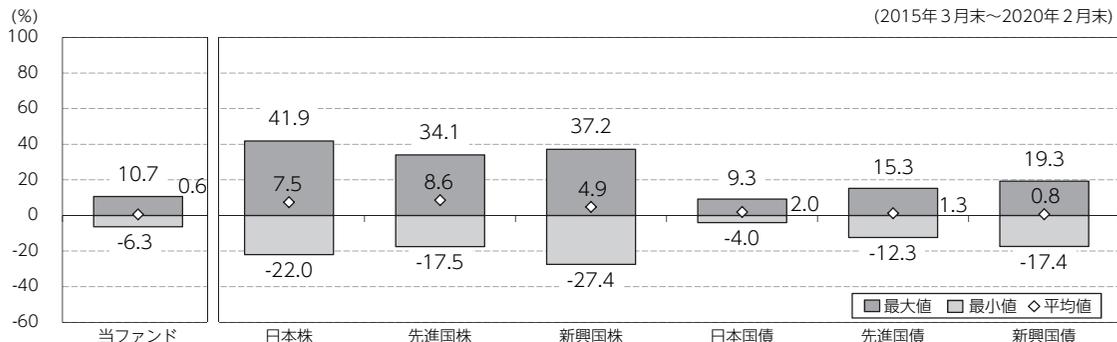
BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社は、2020年4月1日をもって商号を「BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社」に変更いたしました。これに伴う約款変更を2020年4月1日付で行っております。

## ■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2023年3月17日まで
運用方針	信託財産の中長期的な成長および配当等収益の確保を目指して運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	米ドルベースで絶対収益の追求を目指すアイルランド籍外国投資信託である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」および国内籍証券投資信託である「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	①「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」の組入比率は高位を保つことを基本とします。 ②「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」においては、世界の株式、債券、通貨を中心に、リート（不動産投資信託証券）、コモディティ（商品）およびその他の代替投資商品への投資を行います。また、効率的なポートフォリオ運用およびリスクヘッジ目的でデリバティブ商品に投資を行う場合があります。 ③外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行います。 ④市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	原則として、毎決算時に基準価額水準をベースとした方針に基づき分配を行います。

## (参考情報)

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年3月から2020年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドについては、設定日が2015年12月21日のため、2016年12月から2020年2月までの数値であり、単純な比較はできません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### 《各資産クラスの指数》

#### 日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

#### 先進国株・・・MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

#### 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### 日本国債・・・NOMURA - BPI国債

野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

#### 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### 新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## ■当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

#### ○組入上位ファンド

(2020年3月17日現在)

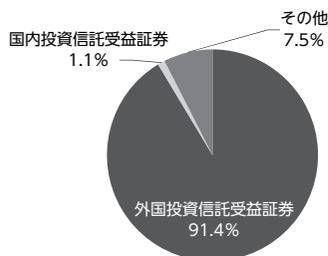
銘柄名	第17期末
	%
BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)	91.4
マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)	1.1
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

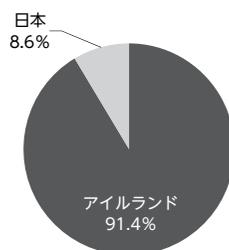
(注) 組入上位ファンドの概要については、21ページ以降をご参照ください。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

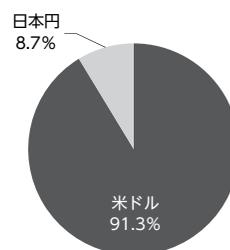
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

(注) 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

### 純資産等

項目	第16期末	第17期末
	2019年12月17日	2020年3月17日
純資産総額	8,406,291円	7,433,941円
受益権総口数	8,168,695口	8,273,486口
1万口当たり基準価額	10,291円	8,985円

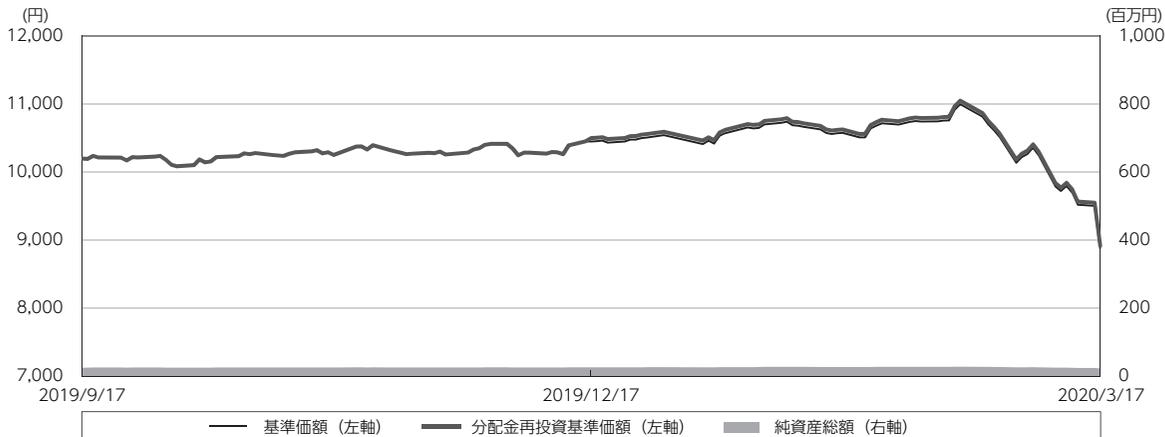
(注) 当作成期間中(第16期～第17期)における追加設定元本額は221,303円、同解約元本額は30,128,627円です。

# BNYメロン・リアル・リターン・ファンド 四半期決算コース (為替ヘッジなし)

## ■運用経過

(2019年9月18日～2020年3月17日)

### 作成期間の基準価額等の推移



第16期首：10,197円

第17期末：8,874円 (既払分配金 (税込み)：50円)

騰落率：△12.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期は、当ファンドの主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)」が下落したことに加え、為替市場で米ドルが日本円に対して下落したことから、当ファンドの基準価額は下落しました。

#### (上昇要因)

- ・期初から2020年2月中旬にかけて株式市場が上昇する中、株式の保有がプラスに寄与しました。
- ・期初から2020年3月上旬にかけて金価格が上昇する中で、金関連銘柄の保有がプラスに寄与しました。

#### (下落要因)

- ・2020年2月下旬から期末にかけて株式市場が急落する中、株式の保有がマイナスに寄与しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2019年9月18日～2020年3月17日)

項 目	第16期～第17期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 73	% 0.697	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、10,428円です。
(投信会社)	( 26)	(0.246)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 46)	(0.438)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	27	0.261	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 3)	(0.027)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	( 23)	(0.219)	組入ファンドの管理報酬等
合 計	100	0.958	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

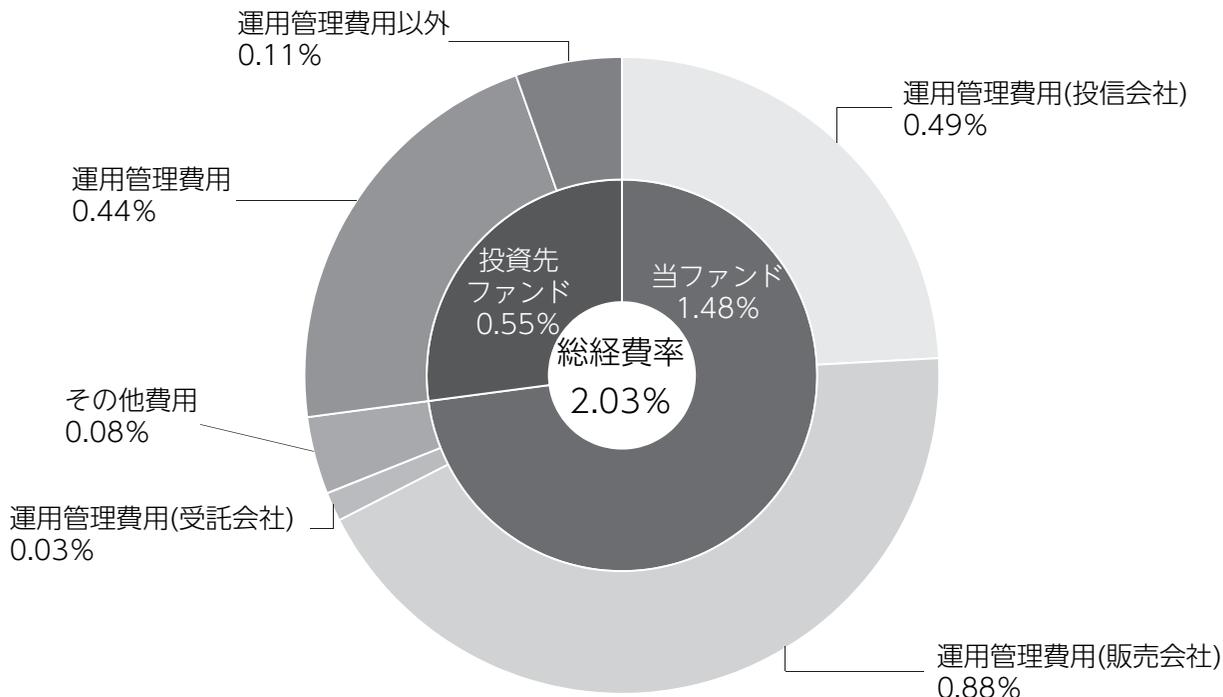
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



総経費率 (①+②+③)	2.03%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.44%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年12月21日 設定日	2016年3月17日 第1期末	2017年3月17日 第5期末	2018年3月19日 第9期末	2019年3月18日 第13期末	2020年3月17日 第17期末
基準価額 (円)	10,000	9,703	9,743	9,043	9,986	8,874
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	50	0	150
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△3.0	0.4	△6.7	10.4	△9.8
純資産総額 (百万円)	1	30	13	15	24	22

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

## 投資環境

### 株式市場

当作成期の先進国株式市場は、期初来、米中通商交渉の進展や、英国の総選挙結果でEU（欧州連合）離脱が確定的となったことなどが支援材料となり、株式市場は年末にかけて上昇しました。2020年の年明け後も米中通商交渉の進展が見られる中、株式市場は堅調な推移を見せましたが、2月下旬以降、新型コロナウイルスに対する懸念がグローバルに高まる中で株式市場は急落しました。

### 債券市場

当作成期の先進国国債市場は、期初来、サウジアラビアの石油精製施設へのテロ攻撃や米国で発表された経済指標が悪化したことなどから欧米長期金利は10月上旬にかけて一時低下しました。その後は米中通商交渉の進展や、英国の総選挙結果でEU（欧州連合）離脱が確定的となったことなどから年末にかけて長期金利は上昇しましたが、2020年2月下旬以降は新型コロナウイルス懸念と各国中央銀行の金融政策を背景に欧米長期金利は変動の大きい展開となりました。

### 為替市場

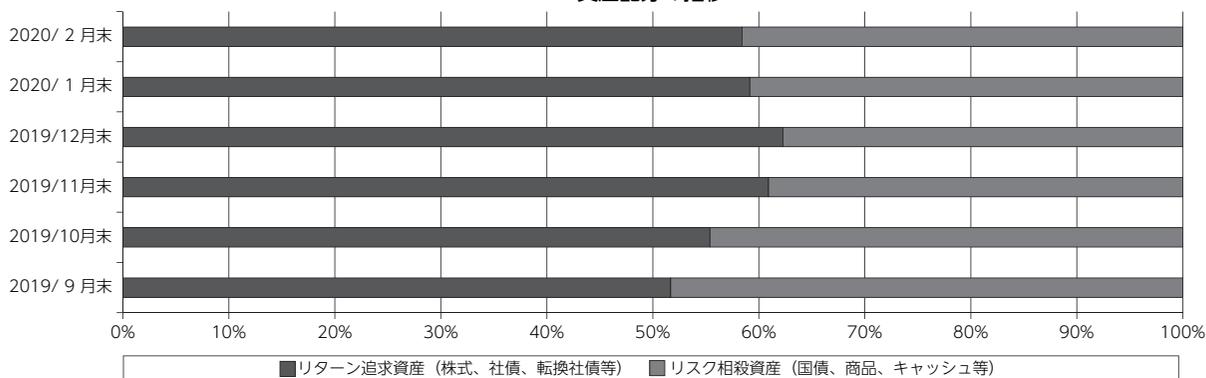
当作成期の為替市場では、米中通商交渉の進展や、英国の総選挙結果でEU（欧州連合）離脱が確定的となったことなどから米ドルは対円で上昇しましたが、2020年2月下旬以降は新型コロナウイルスの影響を受けて、米ドルは対円で下落しました。そのような状況下、英ポンド、ユーロも対円で下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

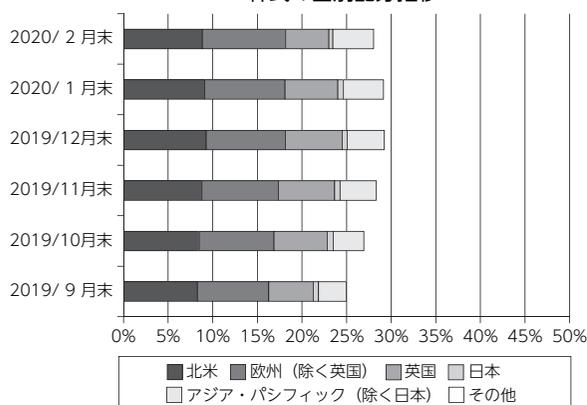
当ファンドは、主として、「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」及び「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行いました。期を通じて「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」の組入比率を高位に保ちました。為替については、米ドルに対して為替ヘッジを行いませんでした。

主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」においては、主として、世界の株式、債券、通貨等を投資対象とし、様々な投資環境に柔軟に対応しながら、下記のグラフのように投資配分の変更を行い、中長期的に米ドルベースで絶対収益の追求を目指して運用が行われました。

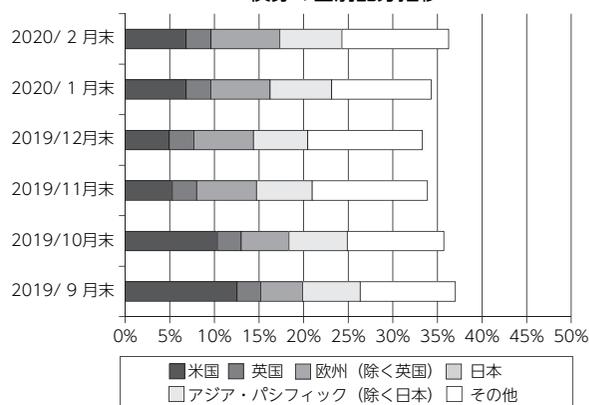
### 資産配分の推移



### 株式の国別配分推移



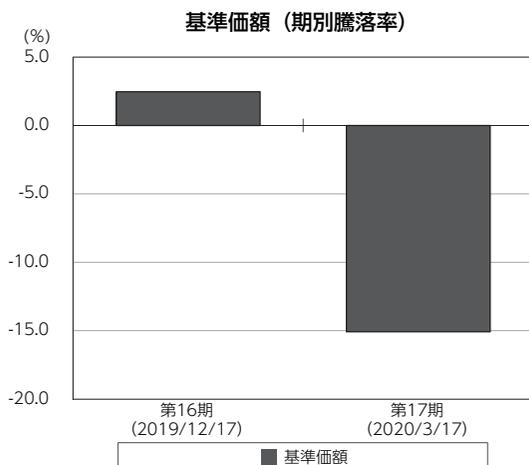
### 債券の国別配分推移



## 当ファンドのベンチマークとの差異

第16期の基準価額騰落率は3.0%、第17期の基準価額騰落率は△15.1%となりました。

なお、当ファンドはベンチマークを設けておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

## 分配金

当作成期の収益分配については、基準価額の水準等を勘案し、第16期末に50円（1万口当たり、税込み）をお支払いさせて頂きましたが、第17期末は見送りさせて頂きました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用致します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期	第17期
	2019年9月18日～ 2019年12月17日	2019年12月18日～ 2020年3月17日
当期分配金	50	—
(対基準価額比率)	0.476%	—%
当期の収益	50	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	781	781

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ■今後の運用方針

「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」および「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を継続してまいります。  
投資比率については、「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」への配分を高位に保ちます。また、為替については、米ドルに対して為替ヘッジを行いません。引き続き、信託財産の中長期的な成長を目指してまいります。

## ■お知らせ

### ●社名変更のお知らせ

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社は、2020年4月1日をもって商号を「BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社」に変更いたしました。これに伴う約款変更を2020年4月1日付で行っております。

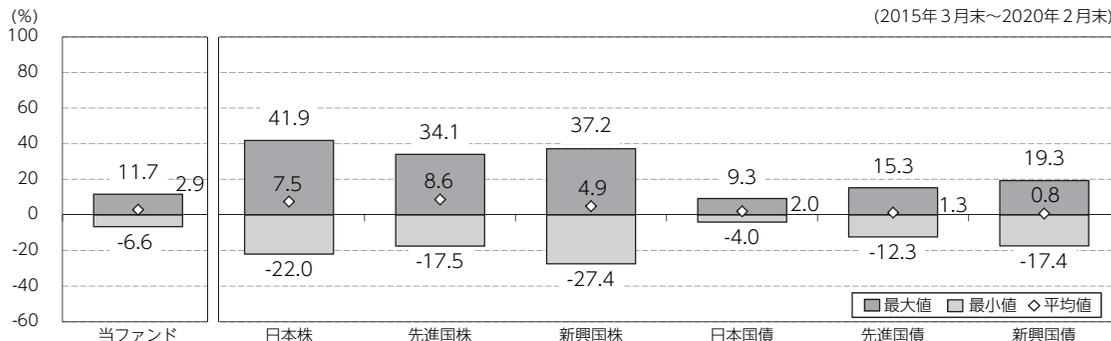
## ■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2023年3月17日まで
運用方針	信託財産の中長期的な成長および配当等収益の確保を目指して運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	米ドルベースで絶対収益の追求を目指すアイルランド籍外国投資信託である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」および国内籍証券投資信託である「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	①「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」の組入比率は高位を保つことを基本とします。 ②「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」においては、世界の株式、債券、通貨を中心に、リート（不動産投資信託証券）、コモディティ（商品）およびその他の代替投資商品への投資を行います。また、効率的なポートフォリオ運用およびリスクヘッジ目的でデリバティブ商品に投資を行う場合があります。 ③外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 ④市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	原則として、毎決算時に基準価額水準をベースとした方針に基づき分配を行います。

## (参考情報)

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年3月末～2020年2月末)



(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年3月から2020年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドについては、設定日が2015年12月21日のため、2016年12月から2020年2月までの数値であり、単純な比較はできません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### 《各資産クラスの指数》

#### 日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

#### 先進国株・・・MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

#### 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### 日本国債・・・NOMURA - BPI国債

野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

#### 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### 新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## ■当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

#### ○組入上位ファンド

(2020年3月17日現在)

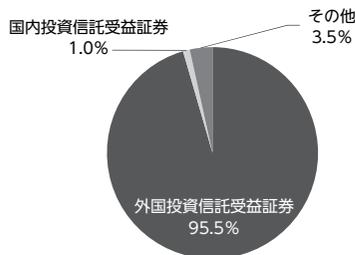
銘柄名	第17期末
	%
BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)	95.5
マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)	1.0
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

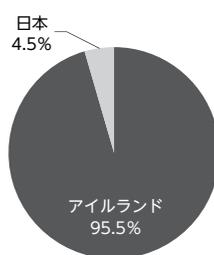
(注) 組入上位ファンドの概要については、次ページ以降をご参照ください。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

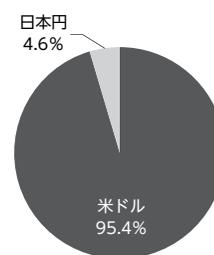
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

### 純資産等

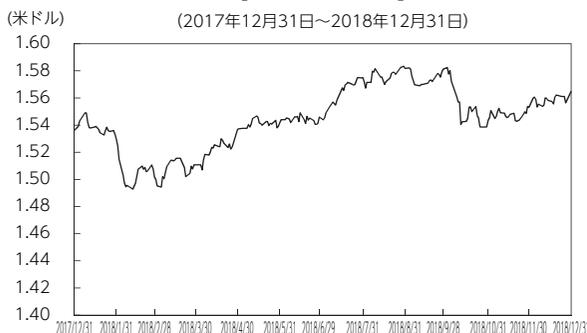
項目	第16期末	第17期末
	2019年12月17日	2020年3月17日
純資産総額	25,806,403円	22,506,952円
受益権総口数	24,696,433口	25,364,135口
1万口当たり基準価額	10,449円	8,874円

(注) 当作成期間中(第16期～第17期)における追加設定元本額は912,622円、同解約元本額は92,607円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)

【基準価額の推移】



【1口当たりの費用明細】

(2018年1月1日～2018年12月31日)

主要投資情報書面にて開示されている継続手数料 (ongoing charge) は0.11%です。

(注) 当ファンドの本書作成時点で開示されている直近の会計年度末は2018年12月31日です。

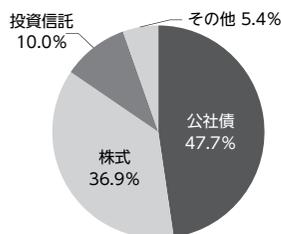
### 【組入上位10銘柄】

(2018年12月31日現在)

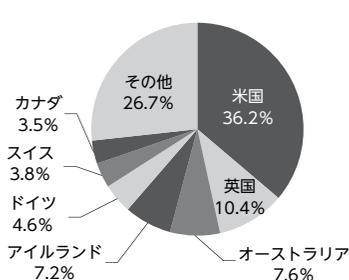
	銘柄名	種別	通貨	国(地域)	比率
					%
1	United States Treasury Note/Bond 2.250% 15-Nov-2027	公社債	米ドル	米国	13.1
2	United States Treasury Note/Bond 3.375% 15-Nov-2048	公社債	米ドル	米国	6.0
3	United States Treasury Note/Bond 2.750% 30-Sep-2020	公社債	米ドル	米国	4.9
4	iShares Physical Gold ETC - ETF	投資信託	米ドル	アイルランド	4.4
5	Australia Government Bond 3.000% 21-Mar-2047	公社債	豪ドル	オーストラリア	2.3
6	Cisco Systems Inc	株式	米ドル	米国	2.0
7	United States Treasury Note/Bond 2.875% 30-Nov-2023	公社債	米ドル	米国	2.0
8	Novartis AG	株式	スイスフラン	スイス	2.0
9	Canada Housing Trust No 1 '144A' 2.350% 15-Jun-2027	公社債	加ドル	カナダ	1.9
10	Australia Government Bond 3.750% 21-Apr-2037	公社債	豪ドル	オーストラリア	1.8
	組入銘柄数		135銘柄		

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

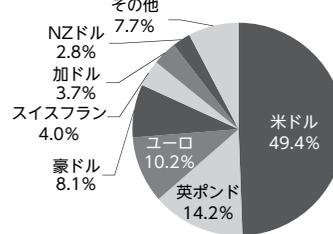
【資産別配分】



【国別配分】



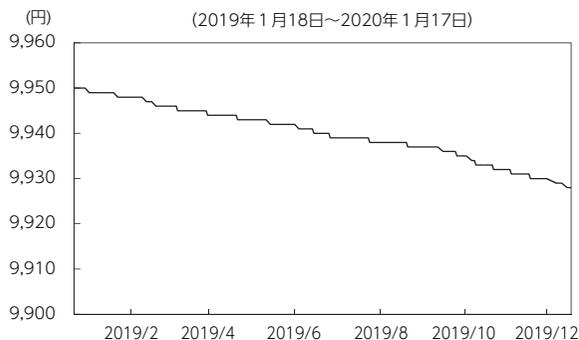
【通貨別配分】



(注) 通貨別配分は有価証券部分を100%として当社が計算した構成比です。

## ◆マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）

### 【基準価額の推移】



### 【1万口当たりの費用明細】

(2019年1月18日～2020年1月17日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	3	0.033
(投信会社)	(2)	(0.021)
(販売会社)	(1)	(0.007)
(受託会社)	(1)	(0.005)
(b) その他費用	4	0.036
(その他)	(4)	(0.036)
合計	7	0.069

期中の平均基準価額は、9,940円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 当ファンドの決算は、年1回であり、直近の決算期末（第10期末）は2020年1月17日です。

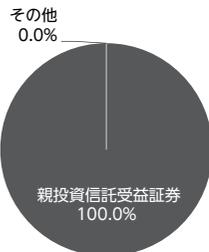
### 【組入上位ファンド】

銘柄名	第10期末
マネーポートフォリオ・マザーファンド	100.0 %
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

### 【資産別配分】



### 【国別配分】



### 【通貨別配分】

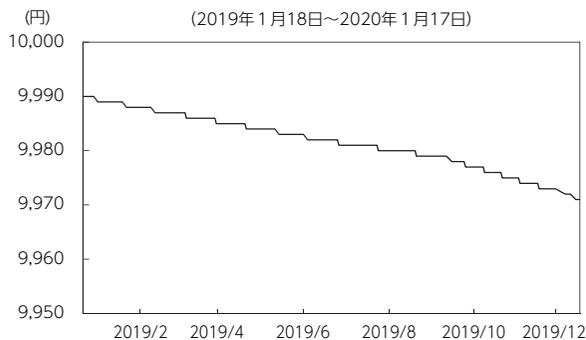


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

＜ご参考＞ マネーポートフォリオ・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年1月18日～2020年1月17日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) その他費用 (その他)	4 (4)	0.036 (0.036)
合 計	4	0.036

期中の平均基準価額は、9,981円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 当ファンドの決算は年1回であり、直近の決算期末は2020年1月17日です。

【組入上位10銘柄】

(2020年1月17日現在)

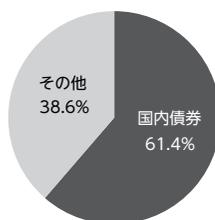
	銘 柄 名	業種／種別等	通 貨	国 (地域)	比 率
					%
1	第880回国庫短期証券	国債	日本円	日本	61.4
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
	組入銘柄数		1銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。